

# 広川町の学校教育

## 第2回子供の安全を守る協議会

2月6日(火)、本年度2回目の「広川町子供の安全を守る協議会」を開催しました。この協議会は、町内の小中学校と関係団体の代表が一堂に会し、子どもたちが安全・安心に過ごすことができるように行われています。

今回は、昨年7月の九州北部豪雨災害など、大雨による被害が増加していることから、「気象情報の見方」について、福岡管区気象台防災調査課の糸長調整官に講話していただきました。主な内容を以下にまとめていますので、子どもの安全を守るため、参考にしてください。



また、全国的にも重大な「いじめ問題」に対応して改訂した「広川町いじめ防止の基本方針」の共通理解を図りました。さらに、各学校と団体で、子どもの安全面について協議しました。広川町は現在、町民の皆さまの見守りのおかげで、大きな事件事故もなく、子どもたちが安全に過ごすことができていると、ご協力ありがとうございます。

「健やかな体」をもった子どもを育成するために  
「子供の安全を守る協議会」と  
「体力・運動能力調査」の結果

### ◆講話◆ 福岡管区気象台 糸長 登志雄 氏

九州北部豪雨での福岡県・大分県の被害は、死者・行方不明者42人、住家全壊322棟、住家半壊1099棟、床上浸水172棟、床下浸水1430棟という、とても大きなものでした。

この豪雨では、6時間に500mm以上の豪雨が降りました。平成24年に広島で同じような豪雨がありました。死者や家屋の被害は倍近くでした。九州北部豪雨で被害が最小限に抑えられたのは、次々に出される情報を地域で共有し、支え合った「コミュニティの力」だと言われています。

地球温暖化に伴い、今後もゲリラ的な豪雨が起こる可能性があります。気象台は、

大雨の場合の防災気象情報として、「土砂災害警戒情報」、「記録的短時間大雨情報」、「指定河川洪水予報」、「特別警報」などを出しています。気象台のホームページから見る事ができますので、ぜひ活用ください。

これまでの災害は、「自助(住民が自らを助ける)」「や(公助(行政の助けを受ける))」で対処してきました。しかし今回の九州北部豪雨から、今後は「共助(地域がともに助け合う)」も大切であることが証明されました。ここ広川町においても、コミュニティの力を生かして、「自助+共助+公助」となるようにお願いします。

問 教育委員会事務局  
学校教育係

☎0943・322・0093  
(内線262、263)

広川町の気象状況は、左のQRコードから見ることが出来ますので、ぜひ活用ください。



地震や台風、大雨などの気象災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。講話にもありましたように、まずは「情報を共有すること」、そして「大人が正しい知識を身につけ、子どもを守ること」が必要です。

学校でも、防災教育や避難訓練を実施していますが、地域でも、子どもをしっかり見守っていただくようお願いいたします。



広川町の子どもの  
体力・運動能力は

福岡県では、小中学生の体格や体力・運動能力、運動習慣について把握し、その改善を通して体力・運動能力の向上を図るため、実態調査を行っています。

全国でも小学5年生と中学2年生を対象に、同様の調査を実施していますが、今回は福岡県と広川町において、同学年の平均の比較をお知らせします。

★身長について

小学5年生と中学2年生どちらも、男女とも福岡県の平均よりもやや低い状況でした。

★体重について

小学5年生と中学2年生どちらも、男女とも福岡県の平均よりもやや軽い状況でした。

表1 体格（身長・体重）の県平均との比較

区分	身長 (cm)		体重 (kg)	
	広川町	福岡県	広川町	福岡県
小学5年男子	138.16	138.48	33.74	33.92
小学5年女子	139.63	139.99	33.47	34.23
中学2年男子	158.56	159.36	46.74	48.29
中学2年女子	154.19	154.54	46.22	47.03



表2 体力・運動能力について

	小学5年生	中学2年生
握力（筋力）	男女とも県平均を上回った	男子は県平均を下回ったが、女子は大幅に上回った
上体起こし（筋パワー）	男子は県平均を下回ったが、女子は上回った	男女とも県平均を上回った
長座体前屈（柔軟性）	男女とも県平均を上回った	男子は県平均を下回ったが、女子は上回った
反復横跳び（敏捷性）	男女とも県平均を上回った	男子は県平均を下回ったが、女子は上回った
シャトルラン（全身持久力）	男女とも県平均を上回った	男子は県平均を下回ったが、女子は上回った
50m走（疾走能力）	<b>男女とも県平均を下回った</b>	男女とも県平均を上回った
立ち幅跳び（跳躍能力）	男子は県平均を下回ったが、女子は上回った	<b>男女とも県平均を下回った</b>
ソフトボール投げ（投球能力）	男子は県平均を下回ったが、女子は上回った	<b>男女とも県平均を下回った</b>

結果と改善点

平成28年度の小学5年生は、体力を点数化した合計点が、男子は県平均を上回っていましたが、女子は下回っていましたが、本年度は男子が0・27点上回り、女子が2・79点上回りました。小学校では今後、児童の実態に応じて、外遊びや体育の授業を工夫し、運動の日常化を図ります。

平成28年度の中学2年生は、全種目で県平均を上回っていましたが、本年度は体力の合計点が男子は0・62点下回り、女子は3・36点上回りました。中学校ではこの結果から、これまでの取り組みの成果と課題を分析し、体力向上に努めます。

また、体力と学力には、相関関係があると言われておりますので、体力だけでなく、学力の向上にも努めていきます。